2023年5月号
vol. 60

市社協 ふじさわ

藤沢市社会福祉協議会（市社協）は社会福祉法に基づき、市民の皆さんの参加と協力によって、
地域福祉の推進を図ることを目的とする福祉団体です。

ふくちゃん

●第4次藤沢市地域福祉活動計画の推進……2・3
●たーすけ　あいちゃん助成について……4
●市社協ふじさわの歴史……5
●いきいきシニアセンター……6
●ふじさわあんしんセンター……7
●令和5年度 事業計画……8・9
●令和5年度 予算……9
●組織図……9
●ふれあい掲示板……10

発行
お問い合わせ

社会福祉法人
藤沢市社会福祉協議会

〒251-0054 藤沢市朝日町1−1 藤沢市役所分庁舎1階
電話 0466(50)3525　FAX 0466(26)6978
E-mail：syakyo1@cityfujisawa.ne.jp
http://www.fujisawa-shakyo.jp/

この機関紙は共同募金の配分金を財源に発行しています

「第4次藤沢市地域福祉活動計画」
支えあう地域づくり推進連絡会で推進

「支えあう地域づくり推進連絡会」は、2017年12月、地域共生社会の実現に向けて、地域活動団体等によって設立されました。

2022年からは地域福祉活動計画の推進を主要なテーマとして、地域活動団体・民生委員児童委員協議会・福祉施設等20団体20名で取り組みの共有、意見交換等をおこない、連絡会として、また各団体による主体的な取り組みがスタートしています。

支えあう地域づくり推進連絡会の委員長の川原田です。2022年度は計画の策定年度であり、3回の連絡会の中で「まずは計画の周知啓発が必要だ」という多くの意見が出され、委員の選出団体から勉強会やチラシ作成などをはじめています。

取り組みの例

市民への周知

- 広報チラシを行政窓口、関係施設等に配架
- 計画書を市民センター・公民館等に配架
- 行政や団体等のイベントに合わせてチラシを配布
- レディオ湘南でお知らせ　など

片瀬市民センターの特設コーナー

勉強会等の開催

- 14地区ごとの地区社協で勉強会
- 南中北の3エリアごとに地区社協で意見交換等を実施
- 16地区ごとの民生委員・児童委員協議会で勉強会
- 保護司会理事会で勉強会
- 湘南ふじさわ子育て応援メッセ実行委員会で勉強会
- 障害福祉団体連絡会
- 老人クラブ連合会
- 藤沢地区福祉施設連絡会　など

辻堂地区社協の勉強会

藤沢市地域福祉活動計画とは

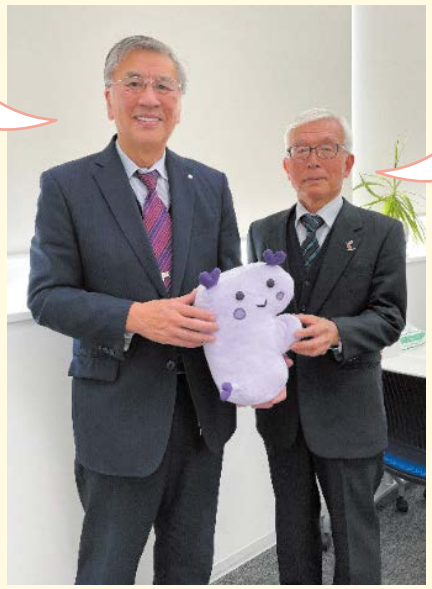
すべての人々が世代や背景をこえてつながり、住民をはじめとした地域のさまざまな主体が自分たちの住むまちの課題解決に、自ら連携しながら取り組んでいくための民間のアクションプラン（行動計画）です。

具体的には藤沢市地域福祉計画2026の推進ビジョンと3つの基本目標に整合した方向性であり、その基本目標、施策の方向性ごとに「地域での取り組みポイント」などを記載しています。

藤沢市長の鈴木です。

藤沢市では、あらゆる主体が世代や分野の垣根をこえて支えあう地域共生社会の実現に向けて、地域住民と企業・福祉事業者・行政などが連携・協働した施策を進めています。

誰もが自分らしく活躍できる地域づくりに向けて「人の和」を大切に、取り組んでまいります。



市社協会長の加藤です。

今年度は、第4次地域福祉活動計画の本格始動の年となるため、計画推進のキャラクター「ふくちゃん」が誕生しました。特技は、皆の幸せを考えることです。計画の推進には、地域で暮らす私たち全員が一丸となって創意工夫ある取り組みを進めていくことが大切です。

市社協も地域の皆さんと手を取り合って「ふくちゃん」と一緒に、計画の推進に取り組んでまいります。

藤沢市の取り組み報告

●地域福祉に関するアンケート調査

「藤沢市地域福祉計画2026」の中間見直しにあたり、2022年11月から12月にかけて、15歳以上の市民4,000人（無作為抽出）に向けてアンケートをおこないました。

「地域に支えられることがある」と感じる割合は、前回調査から減少しています。これらの実態を踏まえ、課題に対応するために、2023年度に計画の中間見直しを予定しています。

〈実施結果から抜粋〉

地域に支えられることが「大いにある」「多少はある」と感じる割合の合計

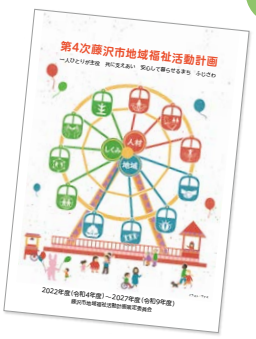
2019年度調査	2022年度調査
39.7%	▶ 36.8%（減少）

※2019年・2022年実施「地域福祉に関するアンケート調査」から

市社協の取り組み報告

●支えあう地域づくり推進連絡会の事務局として、同連絡会及び課題別小委員会の活動を支援しています（連絡会の定期的な開催・周知チラシの作成配布・周知動画の作成等）。

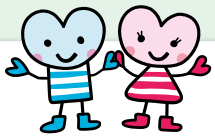
●活動計画書に掲載された「市社協が取り組む具体的な事業」に、計画的に取り組んでいきます（地域活動に対する新たな助成制度・子どもを取り巻く諸課題への対応等、8・9ページを参照）。



第4次藤沢市地域福祉活動計画は市社協のホームページからダウンロードできます。
また、市民センター・公民館及び市社協にて冊子をお渡しすることができます。
お気軽にお問い合わせください。

地域づくりの活動を支援します
（たーすけ あいちゃん助成）

助成制度の見直しがおこなわれ、令和5年3月1日より「たーすけ あいちゃん助成」として、地域づくりの活動や事業をおこなう団体を支援しています。

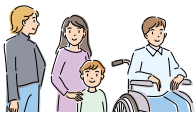

たーすけくん・あいちゃん

この助成は、藤沢市地域福祉活動計画がめざす支えあいの事業等をおこなう団体に対して助成金を交付するものです。

次のような活動を支援します

- 不登校の親子が集うサロン
- 食の支援をおこなう活動（子ども食堂等）
- 当事者及び当事者支援グループの運営
- 地域福祉活性化のイベント開催
- 福祉教育に係る事業

…等、地域福祉増進に寄与する事業



助成対象事業

この助成の対象となる事業及び上限金額は次のとおりです。

1. **地域交流・団体活動推進事業**（上限20万円）
   ①地域交流・市民啓発等イベント的単発的事業
   ②勉強会等（年間を通じたものを含む）
2. **支えあう地域づくり活動事業**（上限30万円）
   支えあいの地域づくりを推進する年間を通じて継続した課題解決型事業
3. **感染防止対策事業**（上限10万円）
   地域活動を継続するための感染症防止対策
4. **活動開始応援事業**（上限5万円）
   新たな地域活動にチャレンジする事業
5. **小規模地域活動推進事業**（上限5万円）
   地域住民に密着した小規模で継続した事業

活用事例をご紹介

助成金を活用し、新たにはじまった地域福祉増進の取り組みをご紹介します。

活用事例① マイミライnext

地域の高校生や学生さん、若い世代の方と共に、地域に関わる全ての人の世代間交流や仲間づくりの場としてコミュニティスペースを提供。カフェだけでなく、地域デビューしたい若い世代が企画する交流イベントも開催し、人と人がつながりあい優しさあふれるまちづくりを目指します。

活用事例② NPO法人とことこ

地域交流と認知症介護の理解を広めることを目的に、ヒューマンドキュメンタリー映画「99歳母と暮らせば」上映会と、この映画の監督でもある藤沢市在住の谷光章氏にお話しいただく講演会を開催しました。

ベビーからシニアまで笑顔にWaをご一緒に！…をスローガンに活動しています。

「たーすけ あいちゃん助成」の要綱は、藤沢市社会福祉協議会ホームページのこちら➡ 申請書・利用申込書ダウンロード からアクセスしてください。※ホームページ左下にあります

ご相談お待ちしております！

市社協ふじさわのあゆみ

藤沢市社会福祉協議会の機関紙「市社協ふじさわ」は、おかげさまで今号は「第60号」の発行となり、創刊号が発行されてから20年が経過しました。

これまで、過去どのような記事を掲載したかをご紹介します。

2005年12月 第8号

たーすけくん・あいちゃんの登場時も表紙に取り上げさせていただきました。

2003年8月

創刊号

2006年8月 第10号

ホームヘルパー2級養成講座の様子

2009年12月 第20号

ふれあいフォトコンテスト作品紹介

2013年5月 第30号

ともしびポスター紹介

2016年9月 第40号

第3次地域福祉活動計画を策定

2020年1月 第50号

分庁舎に移転

過去の「市社協ふじさわ」は藤沢市社会福祉協議会ホームページに掲載しています

機関紙31号（平成25年9月1日発行）から59号までは、藤沢市社会福祉協議会のホームページから閲覧できます。（トップページ下部の左にリンクがあります）

いきいきシニアセンター

やすらぎ荘・湘南なぎさ荘・こぶし荘

令和5年度の主な取り組み、新しい取り組み

新たに、当センターは令和5年度から令和9年度までの5年間、老人福祉センター管理事業者として指定を受けました。藤沢市が定める施設管理の基本方針に基づき、適切な管理運営やサービスの向上に努め、地域福祉増進の拠点施設として、各センターの立地や規模・設備等の特色を活かした、サービス向上の取り組みをおこないます。また、第4次藤沢市地域福祉活動計画や関連する藤沢市の高齢者保健福祉計画、藤沢型地域包括ケアシステム等の理念や目標を踏まえた取り組みを、計画的に推進していきます。

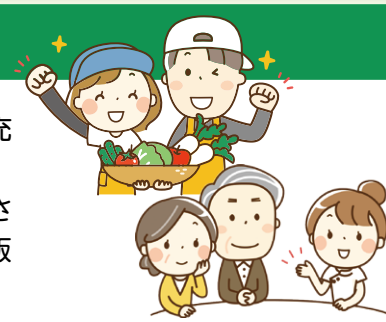
① サービス向上等による施設利用の促進

トレンドや利用者のニーズ等を取り入れた多彩で質の高い魅力ある講座や、各センターで特色あるサロン事業等を実施。今年度からeスポーツの高齢者向け事業の実施にも取り組みます。

② 健康寿命延伸に向けた事業の実施

各センターの健康相談の充実を図るとともに、施設内に各種測定器等を設置し、気軽に利用できる環境の整備や定期的な測定会（フレイルチェック等）を実施します。

③ 藤沢型地域包括ケアの推進に向けた取り組み



現在実施している「見守り連絡サービス」「生活相談」は内容の充実を図ります。

また「いきいきマルシェ」も引き続き実施するとともに、地域団体やJAさがみ等と連携を図り、地場産の食材や地元商店街のおいしい食べ物の販売や、本や日用品の販売もおこなう等、大規模マーケットを開催します。

やすらぎ荘

湘南なぎさ荘

こぶし荘

お問い合わせ

〒251-0862 藤沢市稲荷 586
電話 81-6068
FAX 83-4624
やすらぎ荘

〒251-0037 藤沢市鵠沼海岸 6-17-7
電話 36-2315
FAX 36-1171
湘南なぎさ荘

〒252-0807 藤沢市下土棚 800-1
電話 45-3121
FAX 45-3126
こぶし荘

ふじさわあんしんセンター

TEL 0466-55-3055　FAX 0466-55-3066
月～金（祝日・年末年始除く）8:30～17:00

登録生活支援員の活動を紹介します！

「登録生活支援員」は…

藤沢市社会福祉協議会が実施する「日常生活自立支援事業」などに従事する非常勤職員として、認知症や障がいなどにより自分一人で契約等の判断をすることが不安な方や、日常的な金銭管理に困っている方の支援等をおこなっています。

日々の主な業務としては、支援を必要とする方が地域で安心して暮らすことができるよう、下記のようにご自宅等を定期的に訪問して生活上のアドバイスをおこなったり、預貯金の払戻しや各種支払い等のお手伝いをしています。

標準的な業務のながれ

準備

事前に利用者と取り決めた支援計画（活動実施票）の内容に基づき、訪問の準備をします。

金融機関にて

利用者の生活に必要な預貯金の払戻しや各種支払いの代行等をおこないます。

訪問

利用者のご自宅等において、金銭のお渡しや支払いの確認をおこないます。また、生活状況等を聞き取り、次回の支援内容を確認します（活動実施票等の作成）。

報告

あんしんセンターに戻り、当日の活動内容や利用者の状況等について担当職員に報告します（活動報告書の作成）。

活動中の登録生活支援員の声

Q活動中に気を付けていることは？

A金銭を取り扱うため、金融機関での手続きや利用者さんへの受け渡しなどに間違いのないよう十分に確認をおこなっています。また、訪問した際には、利用者さんの生活の様子や健康状態等にも気を配るようにしています。

Q活動の中で印象に残っていることは？

A体調不良で外出することも難しかった利用者さんが、お届けしたお金でご本人の誕生日にお寿司やケーキなどを買いに出かけ、「おいしかった!」と笑って報告してくれたときなど、この活動をしていてよかったと思いました。

Q活動を始めたきっかけは？

A以前から登録生活支援員として活動していた知人に勧められ、具体的に支援の内容などをお聞きした上で、今までの経験が生かせて自分自身も成長できると思い、あんしんセンターに登録しました。

Q今後の活動については？

A利用者さんとコミュニケーションを深めて日々の暮らしの不安や悩みを伺う中で信頼関係を築き、お一人お一人の状況を十分に理解して少しでも生活の支えになれるよう、この活動を続けていきたいと思います。

登録生活支援員を随時募集しています。ご興味のある方は、ふじさわあんしんセンターまでお問い合わせください。

令和5年度　事業計画

基本方針

新型コロナウイルス感染症が、日常生活に重大な影響を及ぼして3年が経過します。この間の経験で、人と人、地域社会とのつながりが、如何に私たちの生活に欠くことができない大切なことなのかを再認識することができました。

私たちが暮らす身近な地域社会においても、長寿社会への生活環境の整備、子育て・障がいのある方、生活困窮や社会的孤立など生きづらさを抱えた方を支える仕組み、担い手の確保、災害への備えなど、全ての人が支えあい、自分らしく活躍できる地域づくりが重要となっています。

こうしたなかで、「藤沢市地域福祉計画2026」を実践するために、地域で暮らす住民をはじめ自治会・町内会や地区社会福祉協議会等の地域活動団体、民生委員児童委員、社会福祉法人やNPO法人等の専門機関、行政機関等が一体となって地域生活課題の解決に向けた取り組みの指針となる地域福祉活動計画が策定されました。

「第4次地域福祉活動計画」及び「藤沢市社会福祉協議会 中期活動方針」の具体化に取り組みます。

重点目標

❶第4次地域福祉活動計画の推進

計画の推進を検討する「藤沢市支えあう地域づくり推進連絡会」の取り組みを支援し、地域づくりを推進する。また、新たな助成制度により、地域の活動等への支援を強化する。

❷地域福祉の普及・啓発と人材づくり

地域福祉活動の普及・啓発を行い、活動に主体的に参加できる人材づくりに取り組む。また、専門人材の養成については、現状の課題などを踏まえ、事業のあり方を再検討する。

❸生活支援の仕組みづくり

2025年問題に向けた地域づくりが喫緊の課題であり、また、多様な課題も顕在化する中、生活支援コーディネーターを配置し、生活支援ニーズの把握、多様な活動の支援に取り組む。

❹包括的な相談支援体制の構築

①重層的支援体制整備事業への取り組み

体制整備事業が本格実施となることから、包括的相談支援体制の中核的役割として、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を中心とした市社協組織内の連携により、アウトリーチ等の支援や多機関協働、重層的支援会議等の開催に取り組む。

②特例貸付借受人へのフォローアップ支援(新)

コロナの影響に伴う特例貸付において、償還が困難な状況にある方等を対象に、早期に生活再建に向けたアウトリーチによる支援を行う体制を整備し、CSWと一体的な相談支援に取り組む。

❺ひきこもりや生活困窮者等の地域で孤立しがちな方への支援

①ひきこもり等社会参加事業の推進

市役所分庁舎2階「社会参加活動室」の在り方を活動者の意見を踏まえて検討し、ボランティア活動を通し、孤独や孤立の解消の場としての充実を図る。また、重層的支援体制整備事業の「参加支援」として、地域において利用しやすい場づくりを進める。

②社会的孤立等生活支援事業

子どもの貧困等、子どもを取り巻く諸課題に対しての支援を行う。また、今年度は臨時的対応として生活困窮世帯を対象とする「学童援護事業」や「年末たすけあい見舞金」の支援を拡充する。

❻関係機関や民間企業等との連携

①社会福祉法人による地域の公益的な取り組みの推進

藤沢市地域公益事業推進法人協議会による公益的取り組みの推進として、「福祉なんでも相談窓口」事業の充実に向け、事業周知及び担当者間の情報共有や研修の開催などに取り組む。

②民間機関や民間企業等との連携

民間企業等が取り組む社会貢献活動への支援、また、地域の企業に協力が得られるよう啓発活動に取り組む。

③地区社会福祉協議会等との連携

地区社会福祉協議会連絡協議会の事務局支援を行い、南中北エリアごとの交流会やテーマごとの勉強会の開催を支援する。また、民生委員児童委員活動については、CSWによる支援のほか、担い手不足等の課題解決に向けて、普及・啓発等の支援に取り組む。

❼権利擁護の推進

①成年後見制度等の相談機会及び利用支援機能の充実

権利擁護相談機関として、幅広い相談に応じることができるよう充実を図り、成年後見制度がより利用されやすくなるよう、あんしんセンター、藤沢市、専門職団体の連携により利用支援の充実に取り組む。

②成年後見制度中核機関の運営

成年後見制度の利用促進や後見人支援等の機能を担い、地域連携ネットワークの中核となる機関として適切な運営を図り、自己決定を尊重した権利擁護支援を推進する。

❽在宅福祉事業等への取り組み

①制度事業への取り組み

障がい者居宅介護等事業、相談事業は、市内の安定したサービス提供の一助となるよう取り組みを継続する。

②共生社会に向けた生活支援の実施

ひとり親家庭や引きこもり等への生活支援を、CSW等組織内の連携により実施する。

❾いきいきシニアセンターの運営

新たに、令和5年度から5年間の指定管理の指定を受け、地域福祉の拠点施設として、藤沢市が定める施設の管理運営の基本方針に即した取り組みを進め、地域住民にとって身近な拠点施設となるよう、さまざまなイベントや事業を実施する。

❿地域福祉活動センターの運営

福祉活動団体等に対し、市役所分庁舎2階の活動センターの設備・機能を利用しやすいよう配慮し、アンケート結果を参考にしながら、それぞれの意向や課題に応じた支援を実施する。また、福祉情報Webサイトの運営やSNS等を活用した情報の発信を実施し、活動の活性化を図る。

⓫災害対応に向けた取り組みの推進

災害救援ボランティアセンターの開設・運営に向けた実践的運営訓練等の実施などについて継続的な検討を図る。また、災害救援ボランティアセンターの運営におけるシステム構築に向けて検討を進める。

実施事業

1.地域福祉推進事業
❶機関紙“市社協ふじさわ”の発行
❷市社協ホームページ等による福祉情報の提供
❸第4次地域福祉活動計画の推進

2.地域の縁側事業（市受託事業）

3.社会福祉法人や民間企業等との地域貢献事業

4.援護事業
❶学童援護事業　❷年末たすけあい見舞金事業
❸災害援護事業　他

5.福祉人材養成事業
❶福祉・介護・保育人材の養成事業

6.助成事業
❶地区社会福祉協議会への活動費の助成事業
❸地域福祉活動増進事業　※一部新規事業　他

7.ボランティア活動推進事業
❶ボランティアセンター運営事業
❷地域福祉活動センターの運営
❸災害ボランティア推進事業
❹生活困窮者の自立支援関係事業　❺農福連携事業
❻ひきこもり等社会参加支援事業の推進　※一部新規事業

8.資金貸付事業
❶生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）
❷福祉資金の貸付

9.障がい福祉事業
❶地域活動ホーム運営事業　❷就労支援売店運営事業

10.包括的な相談支援・社会的孤立等支援事業
❶生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）
❷社会的孤立等生活支援事業

11.生活支援コーディネーター（第1・2層）事業
（市受託事業）

12.あんしんセンター事業（権利擁護事業）
❶日常生活自立支援事業（県社協受託事業）
❷成年後見事業（市受託事業）
❸市民後見事業（市受託事業）　❹権利擁護支援事業

13.在宅福祉事業
❶自主事業（ホームヘルプサービス）
❷公的介護事業（ホームヘルプサービス）（市受託事業）

14.老人福祉センター事業（指定管理事業）

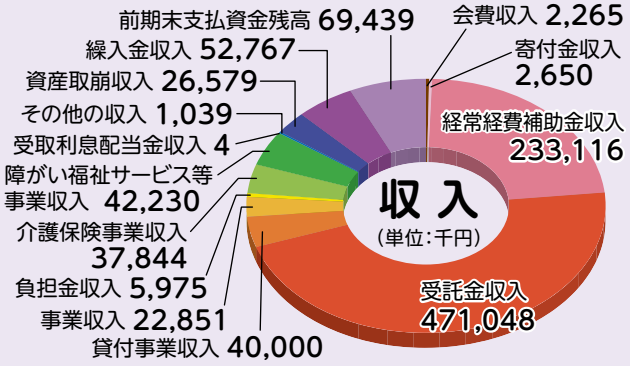
15.居宅介護等事業
❶訪問介護事業

16.障がい者総合支援事業
❶居宅介護等事業
❷相談支援事業

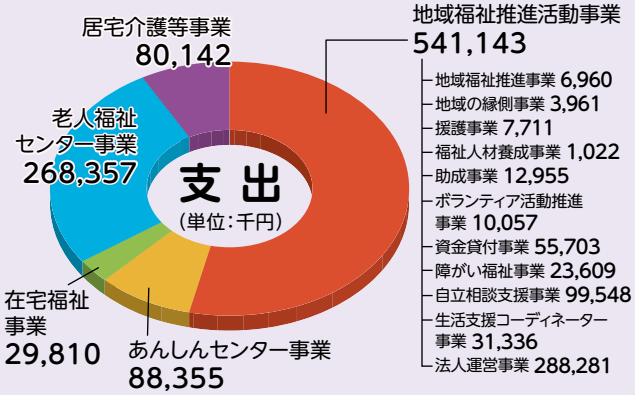
17.災害活動関連事業　他

※紙面の都合上、抜粋して掲載しております。詳しくはホームページをご覧ください。http://www.fujisawa-shakyo.jp/

令和5年度　予算

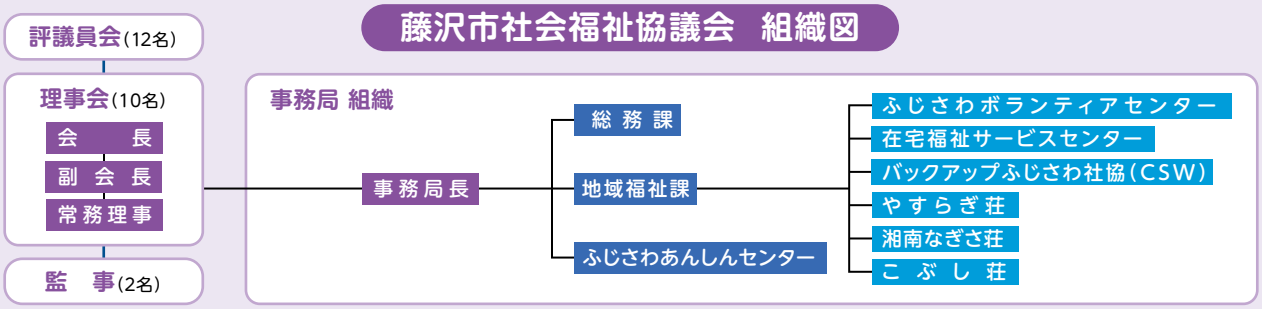


収入合計　1,007,807千円

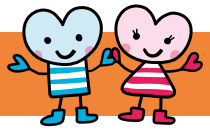


支出合計　1,007,807千円

藤沢市社会福祉協議会　組織図



たーすけくん・あいちゃん



ふれあい掲示板

共同募金会からのお知らせ

共同募金運動 令和4年度実績報告

共同募金運動は、赤い羽根募金と年末たすけあい募金のことです

【藤沢市内共同募金結果一覧】

募金種別	一般募金	年末たすけあい募金	合　計
戸別募金	20,970,888円	11,777,697円	32,748,585円
街頭募金	209,072円		209,072円
法人募金	954,184円		954,184円
職域募金	429,066円		429,066円
学校募金	277,972円		277,972円
その他の募金	705,889円		705,889円
合　計	23,547,071円	11,777,697円	35,324,768円

藤沢市内
35,324,768円

たくさんのご協力ありがとうございました

「江ノ電×湘南モノレール×赤い羽根共同募金」募金活動報告

9年目となりましたコラボ事業。1月7日(土)に「すばな通り」にて開催できました。ご寄付いただいた方には右記デザインのうち、お好きなコラボ缶バッジをお渡ししました。

コラボ缶バッジ(2種類)

毎月発行！

『ふじさわボランティアセンターニュース』です！

藤沢市内のボランティア活動に関する情報や地域での取り組み、ボランティアに関する講座や研修のお知らせ、ボランティア募集等掲載しています。

お近くの市民センター、地域包括支援センター、地区ボランティアセンター、社会福祉関連施設や高校や大学・専門学校等にもお送りしています。

こちらのQRコードから、最新号～バックナンバーもご覧いただけます♪

令和4年 12月1日▶令和5年 3月31日

あたたかいご寄付をありがとうございました

社会福祉のために
- 相模真友会
- 生命保険協会神奈川県協会
- 神奈川土建一般労働組合湘南支部
- イトーヨーカドー藤沢店労働組合
- 藤沢青少年会館「Let's GoTo 藤青」事務局
- 檜山 芳恵
- 匿名　6名

交通遺児のために
- 藤沢北交通安全協会

寄託品
- 江島神社…精米・節分祭福豆・ビスケット
- 藤沢白門会…車イス
- ウエスタンデジタルジャパン…カレンダー・手帳

(順不同・敬称略)

賛助会員の紹介(昨年度会員)

(順不同・敬称略)

浅野 朝子
明月 忠純
五十嵐 昭平
池田 勝利
浦田 勇
大矢 恒夫
倉重 達也
小泉 紀子
指旗 博
新堀 由男
菅原 智栄子
杉山 一美
髙倉 亮一
髙橋 直江
田代 喜宣
谷口 定路
玉野 由美子
戸井田 佐登志
遠矢 良命・節子
永井 秀和
中沢 訓子
二井林 知子
浜崎 由佳子
深瀬 ミサ子
福原 高洋
松本 豊子
宮﨑 信子
本谷 守
森山 千景
山口 カツ
山田 義髙
藤沢市医師会
青木医院
彩クリニック南藤沢
ありあけ内科クリニック
(医)湘洋会
桜林産婦人科医院
加藤小児科
釜萢内科小児科医院
かわしま神経内科クリニック
(医社)孝誠佑覚会
御所見総合クリニック
牛腸内科医院
木庭医院
小林内科医院(鵠沼桜が岡)
小林内科医院(辻堂新町)
さくまこどもクリニック
さわ内科糖尿病クリニック
湘南海岸眼科クリニック
湘南慶育病院
湘南星和クリニック
湘南中央病院
湘南長寿園病院
湘南なぎさ診療所
湘南ホスピタル
湘南ゆずクリニック
湘南ライフタウン診療所
辻堂心とからだのクリニック
野中脳神経外科クリニック
はらだメンタルクリニック
藤沢御所見病院
藤沢診療所
藤沢内科消化器クリニック
藤沢病院
藤沢メディカルクリニック
藤沢問心堂心療内科
望星藤沢クリニック
宮川医院
もとき内科クリニック
やのハートクリニック
山川医院
山崎メンタルクリニック
やまだ内科クリニック
藤沢市歯科医師会
湘南食サポート歯科
鈴木デンタルクリニック
鶴田歯科医院
西口歯科医院
パーク歯科クリニック
浜見山歯科医院
藤沢まごころ歯科
三橋歯科医院
藤沢市薬剤師会
あやみ薬局
イイジマ薬局
永代薬局
桜花堂薬局
光和調剤薬局
湘南台ひかり薬局
湘南台薬品
すみれ調剤薬局 辻堂店
長後西口薬局
ときわ漢方薬局
なつめ薬局
はとり薬局
日だまり薬局
ふじいろ薬局
藤沢ひかり薬局
ベル薬局
牧野薬局
まなみ薬局
薬局アポテイク渡内店
ユマニテ薬局
わかば薬局
ICHIカンパニー
樹ケアサポート
移動サービスW.Coらら・むーぶ藤沢
おれんじリング湘南
片瀬地区福祉ボランティア・しおさい
神奈川聴覚障害者総合福祉協会
シー・エル・ピー
シニアライフセラピー研究所
東幸湘南営業所
Nico's Company
福祉クラブ生協オプティ茜
藤沢家事介護W.Coえんじょい
藤沢子育て支援W.Coほっと・すぺーす
藤沢市遺族会
藤沢市更生保護女性会
藤沢市市民後見人 ふたば会
藤沢市手をつなぐ育成会
藤沢商工会議所
藤沢食事サービスW.Coクックふじさわ
藤沢生活支援W.Coひなた
ヘルスプラン
やまか
養護老人ホーム湘風園
laule' a

【市社協賛助会員募集中】 申込方法：本協議会でお申し込みいただくか、挟み込みのゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。

受付窓口
- 平日　8:30～17:00 ― 1階「総務課」
- 平日　17:00～20:00 / 土日祝　9:00～17:00(第3日曜を除く) ― 2階「ふじさわボランティアセンター」

ゆうちょ銀行窓口での払込
払込手数料は本協議会が負担いたします。
なお、現金で窓口支払いをする場合、加算料金110円をご負担いただきます。
(ゆうちょ銀行口座からの振替の場合は、加算料金が発生しません)